

会場選びの重視点に変化 「料理」の重要度が高まる 「ゼクシィ結婚トレンド調査2018」より

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都品川区 代表取締役社長 山口文洋）が企画運営する結婚情報誌『ゼクシィ』では、新婚カップルの結婚スタイルについて詳細に把握するために、毎年「結婚トレンド調査」を実施しています。1994年に首都圏で開始した調査は、年々調査地域を拡大し、現在では北海道、青森・秋田・岩手・宮城・山形、福島、茨城・栃木・群馬、首都圏、新潟、長野・山梨、富山・石川・福井、静岡、東海、関西、岡山・広島・山口・鳥取・島根、四国、九州の15地域による全国規模の調査を実施しています。「ゼクシィ結婚トレンド調査2018」に関する新たな分析をお伝えします。

◆会場選びの重視点に変化。「料理」の重要度が高まっている

75.1%の人が、結婚式までに「試食」を行っています。では、そのタイミングはいつ頃なのでしょう。 「ゼクシィ結婚トレンド調査2018」にて、2017年4月～2018年3月に結婚したカップルに、結婚式会場選びのプロセスについて調査しました。

【試食のタイミング（試食をした人／単一回答）】 ※無回答は非掲載

- ・会場を決める前 : 18年調査 30.6% (12年調査 20.1%)
- ・会場を決める前と決めた後の両方 : 18年調査 42.4% (12年調査 22.9%)
- ・会場を決めた後 : 18年調査 25.4% (12年調査 56.9%)

【披露宴・披露パーティ会場を決定する際の重視点上位3項目（披露宴・披露パーティ実施者／複数回答）】

- ・1位 料理 : 18年調査 59.0% (12年調査 57.4%)
- ・2位 交通の便が良いこと : 18年調査 54.3% (12年調査 57.5%)
- ・3位 披露宴・披露パーティ会場の雰囲気が良いこと : 18年調査 51.5% (12年調査 57.7%)

2012年調査では約6割が「会場を決めた後」に試食し、会場を決めた後にゲストに提供する料理を決めていましたが、2018年調査では、「会場を決める前と後の両方」まで加えると、7割以上の方が式場の検討タイミングで試食を行っていることが分かりました。また、会場を決定する際の重視点においても、「料理」は1位であり、2012年調査より増加しています。

加えていうと、会場検討時に参加した「ブライダルフェア」で役に立った内容で最も高かったのは「試食」（79.3%）であり、2012年調査（60.9%）から、18.4ポイントと、大きく増加しています。

以前は「会場を決めてから料理を決める」というプロセスが一般的でしたが、「料理」は式場決定を左右するほど、重要度が高まっているようです。

では、料理を決める際のポイントとなるのはどこなのでしょう。

【料理のメニューを選択する際の重視点上位3項目（披露宴・披露パーティ実施者／複数回答）】

- ・1位 味 : 18年調査 74.2%
- ・2位 見た目の美しさ : 18年調査 56.9%
- ・3位 価格 : 18年調査 43.1%

料理のメニューを選択する際の重視点をみると、「味」「見た目」「価格」といった項目が上位に挙がっています。「価格」だけでなく、「味」「見た目」でゲストに喜んでほしいという意識が表れているようです。

ゲストに満足してもらえるよう、会場を決める前に料理の質を確認し、判断材料にするなど、式場選びの段階からゲストを思う気持ちが見てとれます。

◆出版・印刷物へデータを転載する際には、「ゼクシィ結婚トレンド調査2018 調べ」と明記いただきますようお願い申し上げます。

【リクルート ブライダル総研】

ブライダル総研

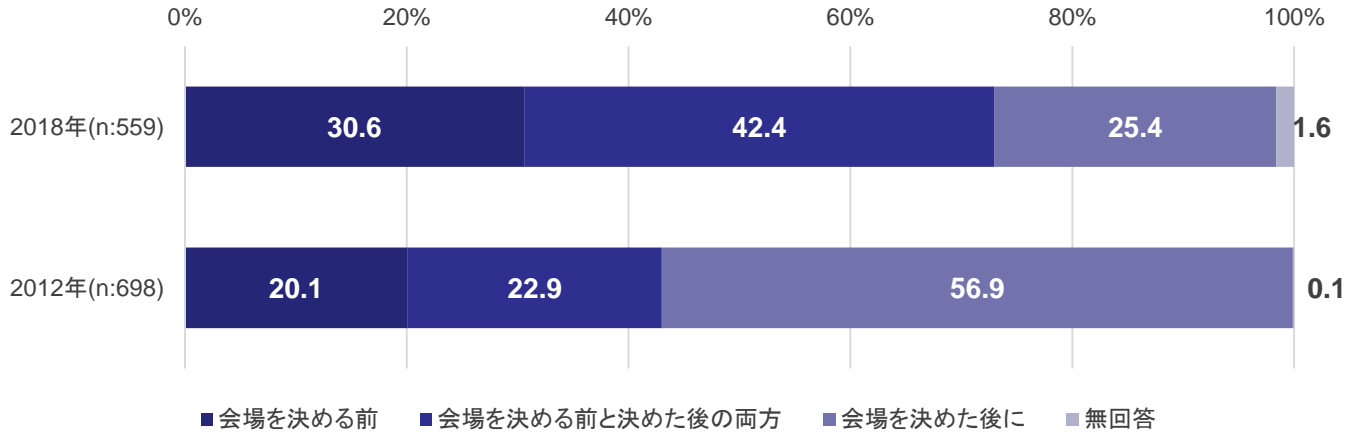
本調査の実査を担当する「ブライダル総研」は、を企画運営する株式会社リクルートマーケティングパートナーズにおける調査・研究組織です。結婚や結婚式に関する調査・研究、未来への提言を通じて、ブライダルマーケットの発展に貢献することを目的として活動しています。

「ブライダル総研リサーチニュース」バックナンバー
ブライダルに関する豊富な調査データはこちらをご利用ください

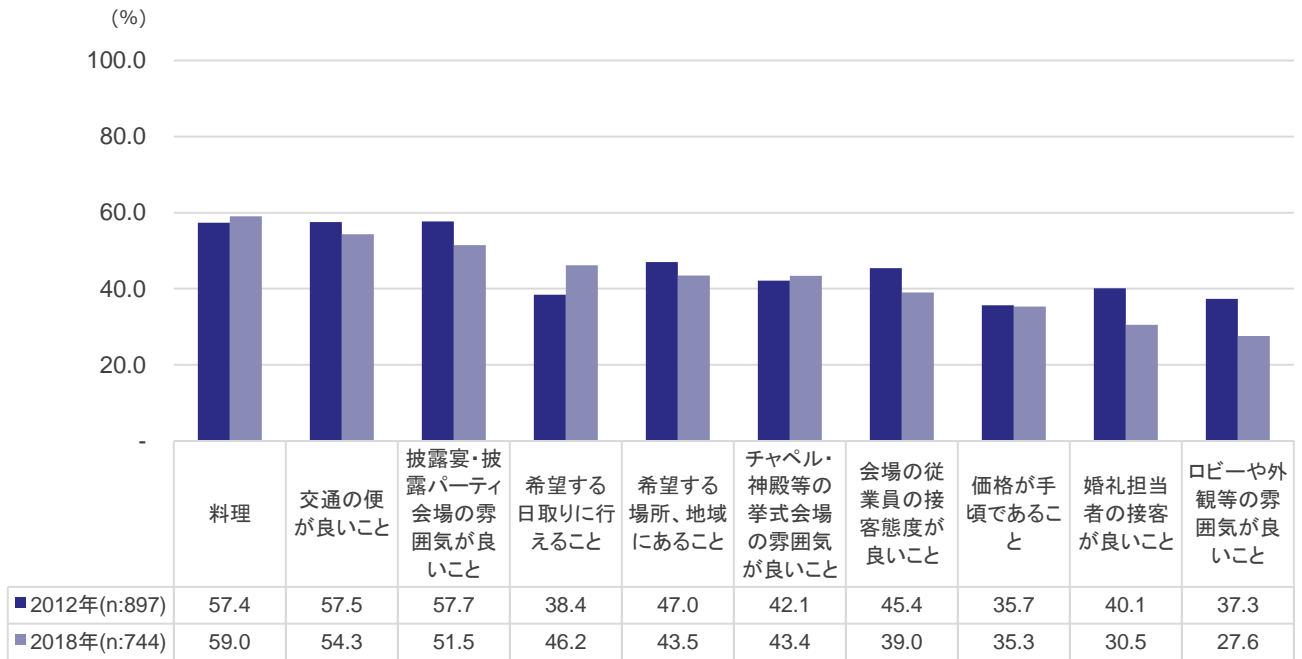
<http://bridal-souken.net/>

ブライダル総研 Research News

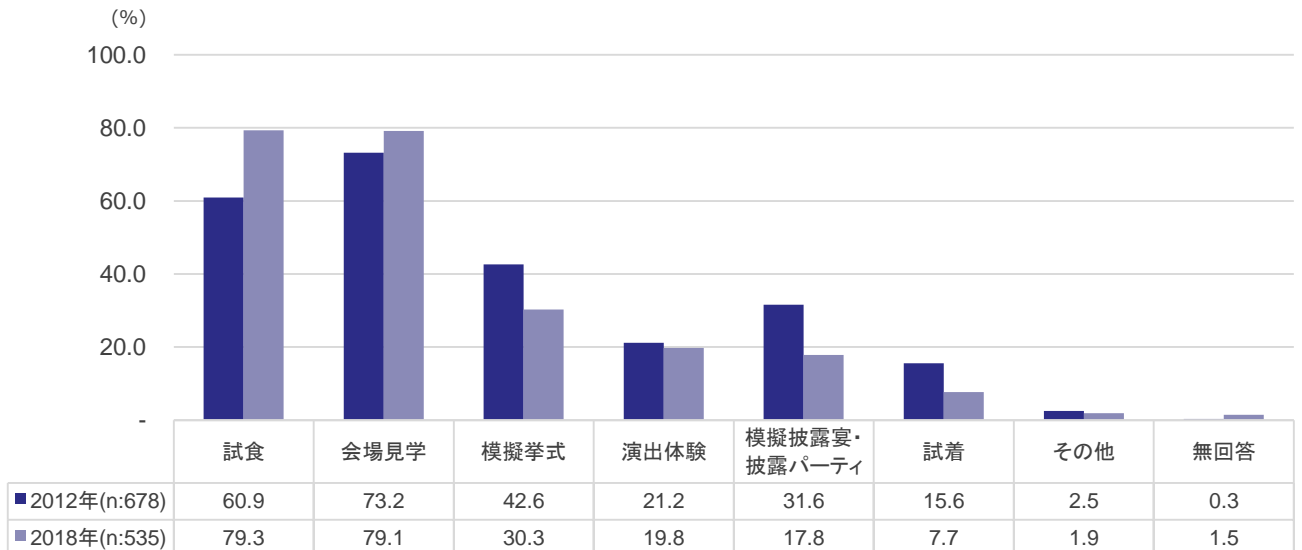
【試食のタイミング（試食をした人／単一回答）】



【披露宴・披露パーティ会場を決定する際の重視点上位10項目（披露宴・披露パーティ実施者／複数回答）】

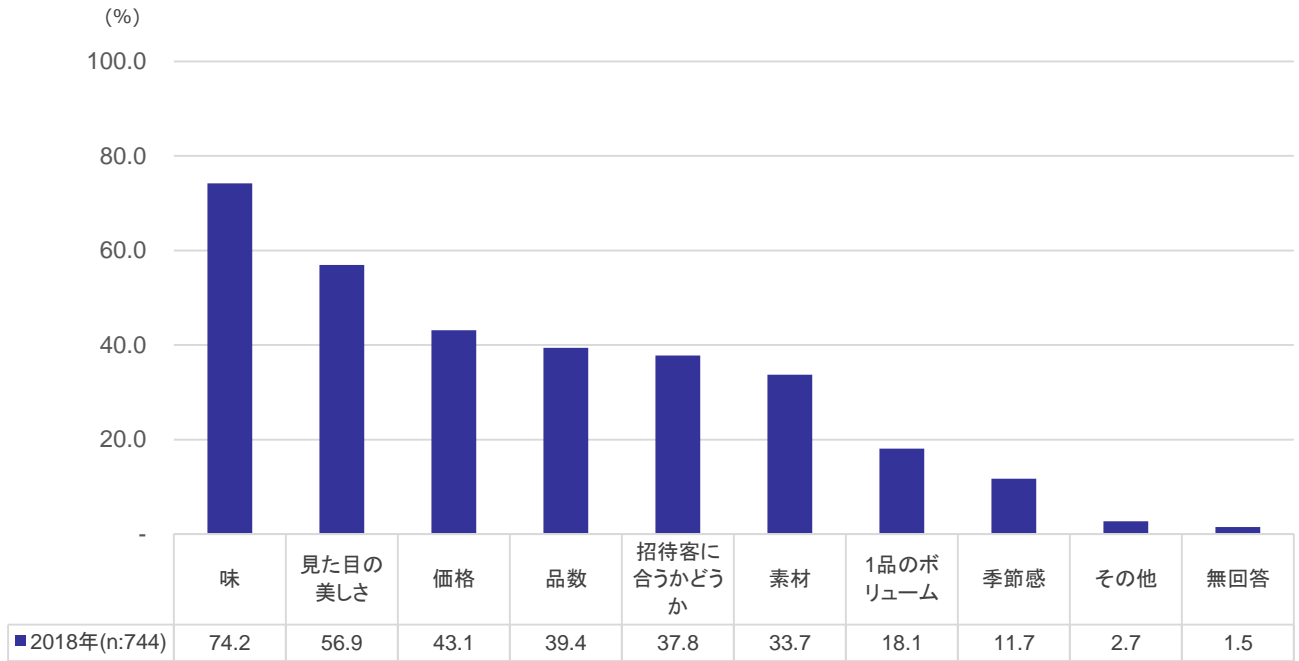


【役に立ったブライダルフェアの内容（ブライダルフェア訪問者／複数回答）】



ブライダル総研 Research News

【料理のメニューを選択する際の重視点上位3項目（披露宴・披露パーティ実施者／複数回答）】



【調査概要】

【調査方法】 郵送法

【調査期間】 2018年4月20日～5月28日

【調査対象】 北海道・青森・秋田・岩手・宮城・山形・福島・茨城・栃木・群馬・首都圏・新潟・長野・山梨・富山・石川・福井・静岡・東海・関西・岡山・広島・山口・鳥取・島根・四国・九州の2017年4月～2018年3月に結婚(挙式・披露宴・披露パーティ)をした、もしくは結婚予定があった『ゼクシィ』読者のうち、地域ごとにランダムサンプリングし、調査票を郵送。調査票への記入は妻に依頼。

調査票発送数:14750件 調査票回収数: 5494件 回収率: 37.2%

【集計サンプル数】

計5138人[北海道:294人、青森・秋田・岩手:150人、宮城・山形:270人、福島:160人、茨城・栃木・群馬:411人、首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉):784人、新潟:160人、長野・山梨:196人、富山・石川・福井:223人、静岡:171人、東海(愛知・岐阜・三重):513人、関西(大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・和歌山):729人、岡山・広島・山口・鳥取・島根:312人、四国(愛媛・香川・徳島・高知):213人、九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島):552人]

※回収されたサンプルのうち、対象期間内に挙式または披露宴・披露パーティをどちらも実施していないものは除いています。

※地域別の集計は「結婚前の妻の居住地」で行っています。

※全国集計については、各地域の婚姻件数(平成28年厚生労働省人口動態調査)に合わせてウェイトバック集計を行った推計値を掲載しています(全国<『ゼクシィ』発行地域外[沖縄]を除く>の婚姻件数合計は612067組)。

※図表中の「-」は回答なし、「0.0」は回答はあるが単位未満を示しています。

※本文中で使用している時系列のデータは、それぞれ過去に実施した同調査のデータです。調査方法、調査対象者は本年と同様、集計サンプル数については下記の通りです。

| | 集計サンプル数 (人) | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|-------------|----------|-------|-----|----------|------|-----|-------|----------|-----|-----|------|----------------|-----|------|
| | 北海道 | 青森・秋田・岩手 | 宮城・山形 | 福島 | 茨城・栃木・群馬 | 首都圏 | 新潟 | 長野・山梨 | 富山・石川・福井 | 静岡 | 東海 | 関西 | 岡山・広島・山口・鳥取・島根 | 四国 | 九州 |
| 2017年調査 | 329 | 212 | 275 | 134 | 341 | 750 | 132 | 202 | 198 | 173 | 578 | 744 | 285 | 196 | 574 |
| 2016年調査 | 330 | 139 | 205 | 131 | 364 | 856 | 133 | 168 | 156 | 203 | 616 | 860 | 328 | 148 | 586 |
| 2015年調査 | 336 | 176 | 259 | 144 | 396 | 794 | 148 | 164 | 173 | 247 | 797 | 798 | 387 | 163 | 719 |
| 2014年調査 | 364 | 194 | 298 | 131 | 455 | 806 | 104 | 219 | 207 | 203 | 645 | 806 | 432 | 187 | 782 |
| 2013年調査 | 489 | 243 | 329 | 176 | 480 | 1049 | 144 | 169 | 239 | 329 | 669 | 1078 | 485 | 201 | 929 |
| 2012年調査 | 454 | 181 | 290 | 146 | 450 | 932 | 147 | 237 | 232 | 331 | 620 | 897 | 582 | 263 | 1078 |

※2016年調査では、2016年4月に発生した平成28年熊本地震の影響を鑑み、熊本県の調査はしておりません。

※鳥取県と島根県は、2012年調査まで調査対象外としていましたが、2013年調査から岡山県、広島県、山口県と合わせ、岡山・広島・山口・鳥取・島根として集計しています。